

安心な暮らしが充実し、
庄原に関わる人の未来が
つながっていくまち



第3期庄原市長期総合計画 概要版

SHOBARA

令和8年3月 広島県庄原市

めざす“まち”の姿

人口減少が進行し、また、日々目まぐるしく社会情勢が変化していくなかで、私たちの大切なふるさと「庄原市」を将来に向けて誇りに思えるかたちで未来に引き継いでいくためには、世代を超えて市民のだれもが普遍的に共感できる明確な“将来ビジョン”を描き、その実現に向けて直面する課題に知恵を出し合い、自らの力で切り拓いていくことが求められます。

市民の声にある、この“まち”ならではの魅力に満ちあふれ、「ずっと住み続けたい、いつか帰ってきたい」と心から思える“まち”。それこそが、私たちが総力を挙げてめざす理想の「庄原市」の姿です。

このような考えから、第3期長期総合計画の“めざす将来像”を

「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」

とします。



将来像の実現に向けた施策の柱

「めざす将来像」実現のための戦略=施策の柱を次のように定めます。

安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち

施策の柱2

将来に希望が
つながっていく
仕組みづくり

施策の柱3

市民の期待に応え、
将来を担う
人的資源の育成

施策の柱1

安心な暮らしの充実

《まちづくりの3つの柱》

施策の柱 1

安心な暮らしの充実～市民の不安を安心に～

医療、福祉、交通、防犯・防災など、多くの市民は様々な面で不安を感じ、人口減少が進む中で、この“まち”の将来を懸念しています。

そんな不安を解消するため、市民や事業者と行政が一体となり、手を取り合って取り組むことで、未来への希望に満ちた「安心な暮らし」を実現します。

出産・子育て支援、医療・福祉の充実、持続可能な地域社会の構築、交通手段の確保、市民生活の基盤の維持、域内の経済循環の促進、多様かつ迅速な情報伝達体制の構築、地域の防災力の向上など、安全・安心なまちづくりを進め、不安のない暮らしが“まち”を未来へつなぎ、誰もが希望に満ちた将来を実感できるよう、まずは、安心な暮らしを充実させていきます。

施策の柱 2

将来に希望がつながっていく仕組みづくり ～地域経済がつなぐふるさとの継承～

市民が抱える様々な不安が解消されることで、経済成長への第一歩を踏み出すことができます。

雇用の安定や賃金だけでなく、ワーク・ライフ・バランス^{※1}や、やりがいといった魅力を感じる仕事がないと、庄原での暮らしが成り立たないこととなります。

また、第一次産業や第二次産業の衰退はサービス業の縮小を招き、雇用機会の喪失と人口減少の加速につながります。

サービス業に依存した産業構造からの転換を図り、市民、事業者、本市に関わる人々とともに経済の成長戦略を描き、新たな基盤産業を確立することで、豊かで彩りのある市民生活や、関係人口^{※2}の増加も期待できます。

確立した基盤産業により地域の経済が潤いを取り戻し、地域にめぐることによって地域が活性化していく、好循環のプロセスを構築し、将来につながる経済発展をめざしていきます。

施策の柱 3

市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成 ～未来を育む人づくり～

人づくりは、安心な暮らしと、将来につながる成長戦略と経済の好循環を支える基礎となるものであり、すべての取組の基礎となります。

子どもたちのふるさとへの愛着を育み、グローバル化する社会で時代を切り拓く力を身につけること、市民が学び続け生き生きと暮らすことが、“まち”全体の未来への希望へとつながります。

また、様々な分野の人材が市内外で活躍する姿は、市民に夢や希望を与えてくれます。

未来に向けて、魅力あふれる“まち”を創造していくため、市民が期待する明るい未来へとつながる豊かな人的資源を、長期的な視点を持って育成します。

※1 仕事と生活の調和のとれた働き方のこと。

※2 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す。

《 行政の役割 》

施策の柱 4

行政経営の刷新

「まちづくりの3つの柱」を実現していくため、行政は中心として機能していくことが求められ、簡素で効率的な行政体制の構築、ICT技術の積極的な活用、職員の能力向上など、VUCA※3の時代にあっても市民の負託に応えられる課題解決能力の高い自治体へと進化していかなくてはなりません。こうした観点から、「行政経営の刷新」を施策の柱の一つに据え、取組を推進していきます。

将来像の実現に向けた施策構成



※まちづくりの3つの柱を下支える役割として位置付ける

※3 Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)の頭文字からなる言葉で、変動する社会情勢や予測困難な現代社会の特性を表す。

施策展開

1 安心な暮らしの充実～市民の不安を安心に～

第一の施策の柱では、現在の状況からより充実した施策を展開することで、暮らしの安心感の向上と生活基盤や地域経済の維持、安全な地域づくり、社会的包摂性^{※4}の向上につなげ、「安心な暮らしの充実」をめざします。

施策領域 1-① 子ども・子育て

○「子ども・子育て」では、子ども、子育て家庭や、子育てにかかわる全ての人がつながり、支えあい、子どもや若者が心身ともに健やかに育つ“まち”をめざします。

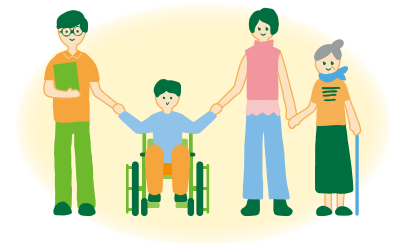


施策領域 1-② 福祉・介護

○「福祉・介護」では、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活し活動できる社会の形成をめざします。

施策領域 1-③ ウェルネス^{※5}

○「ウェルネス」では、安心な暮らしに不可欠な健康づくりや、それを支える医療体制の維持と充実、そして彩りのある人生を送るための生きがいづくりの促進をめざします。



施策領域 1-④ 生活基盤

○「生活基盤」では、生活拠点の維持や、公共インフラの維持・整備、必要な時に必要な場所へ移動できる交通手段の確保などによる市民生活の基盤づくりをめざします。



施策領域 1-⑤ 地域経済

○「地域経済」では、生活との関係性が深い生業の維持や地域に根差した域内経済循環の促進による地域の豊かさの拡大をめざします。

施策領域 1-⑥ 防犯・防災・減災

○「防犯・防災・減災」では、犯罪抑止の取組強化や、災害に強いまちづくり、安全安心な地域づくりをめざします。

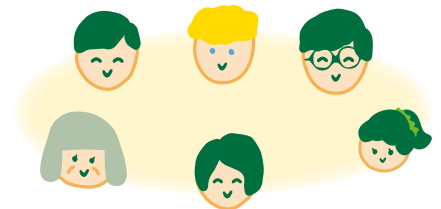


施策領域 1-⑦ 自治・協働の推進

○「自治・協働の推進」では、持続可能な住民自治の確立に向け、まちづくりの機運の醸成や、より深化した地域コミュニティの形成をめざします。

施策領域 1-⑧ ダイバーシティ・インクルージョン^{※6}

○「ダイバーシティ・インクルージョン」では、人々が持つ異なる背景や価値観、考え方を尊重し、社会的包摂が促進された思いやりにあふれる“まち”の実現をめざします。



※4 全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うこと。

※5 感情的なウェルビーイング(人生に効果的に対処し、満足のいく人間関係を築く)、身体的なウェルビーイング(身体活動、健康的な食事、睡眠の必要性を認識する)などを指す。

※6 年齢や性別、国籍、学歴、特性、趣味嗜好、宗教などにとらわれない多種多様な人材が、お互いに認め合い、自らの能力を最大限発揮し活躍できること。

2 将来に希望がつながっていく仕組みづくり ～地域経済がつなぐふるさとの継承～

第二の施策の柱では、希望が連鎖的につながる好循環を構築し、人口規模に左右されない持続可能な地域経済の基盤を確立するため、柱として「将来に希望がつながっていく仕組みづくり」をめざします。

施策領域 2-① 農林業

○「農林業」では、第一次産業の担い手を育成するとともに、庄原ならではの農畜産物や豊かな森林資源を活用した木材の生産拡大を図り、生産額の増加と所得の向上につなげます。

施策領域 2-② 商工業

○「商工業」では、商工業の維持・発展のため、商業者支援や創業などへの取組を強化するとともに、企業の先進技術の導入などを通じて、商工業の振興を図ります。

施策領域 2-③ 観光の振興

○「観光の振興」では、観光プロモーションの推進を図り、本市の特色を生かした多彩で魅力ある観光地とすることで、本市の経済を支える産業の一つとして確立することをめざします。

施策領域 2-④ 産学官連携

○「産学官連携」では、企業・大学・金融や行政など多様な主体が結集し、革新的かつ戦略的な取組に挑戦する基盤を作り、イノベーション^{※7}の創出による産業の新たな可能性を広げます。

施策領域 2-⑤ 人口減少への適応

○「人口減少への適応」では、移住・定住の促進や関係人口創出などの対策を継続しつつ、市民の安心な暮らしを充実させ、人口規模に左右されない経済成長やにぎわい創出をめざします。



3 市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成 ～未来を育む人づくり～

第三の施策の柱では、人的資源の育成が「安心な暮らしの充実」と「将来に希望がつながっていく仕組みづくり」の基盤となる柱と位置づけ、未来に向けて、魅力あふれる“まち”を創造するため、「市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成」が進む“まち”をめざします。

施策領域 3-① 次世代教育

○「次世代教育」では、多様な教育ニーズに応え切れ目ない教育を提供するとともに、学び育ったふるさとへの愛着を醸成し、次世代を担う存在としての育成をめざします。

施策領域 3-② リカレント教育^{※8}の推進

○「リカレント教育の推進」では、学校教育から離れた後も、必要なタイミングで教育が受けられ、希望するキャリア形成につながり、社会の変化に対応した学びが続けられる環境づくりをめざします。



※7 商品やサービスまたはビジネスモデルに従来とは違った仕組みや技術を組み合わせることで今までにない革新的な価値を生み出し社会に大きなインパクトをもたらすこと。

※8 学校教育から離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくための、社会人の学びのこと。

施策領域 3-③ グローバル人材の活躍

○「グローバル人材の活躍」では、異なる文化圏や多様な価値観を持った国際感覚の豊かな人材の育成に加え、技術・技能を持った外国人材などが、地域で能力を発揮し活躍できる“まち”をめざします。



施策領域 3-④ ふるさと愛・誇り

○「ふるさと愛・誇り」では、地域資源や地域づくり活動などにより本市の魅力に触れ、この地に愛着や誇りを持って暮らし続けたいと願う人を増やします。また、様々な分野で活躍し、市民の希望につながる人材が育成・輩出される“まち”をめざします。

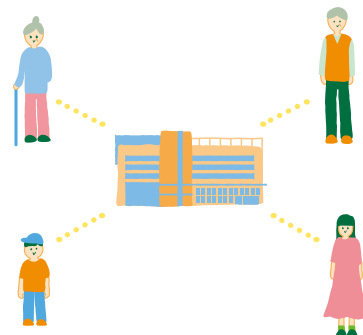


4 行政経営の刷新

行政経営の刷新により、「安心な暮らし」「地域経済の活力」「人づくり」を下支えし、変化の大きい時代においても、市民の付託に応える持続可能な市政を実現します。

施策領域 4-① 行財政運営

○「行財政運営」では、組織・人材での業務の見直し・標準化・連携の推進、職員の政策立案・実行力の向上、必要に応じた民間・専門人材の力の活用の実施、財政での中長期の見通しに基づく戦略的配分、重点と選択の明確化、事業の効果検証（PDCA）の強化をめざします。また、国の制度動向を踏まえつつ、社会保障制度の適正な給付と公平な負担、効率的な事務運用を図り、限られた財源の中での持続可能性を確保し、公共施設のライフサイクル^{※9}全体の見通しのもと、更新・統合・活用を計画的に進め、役割を終えた施設も地域の価値向上に資する形での利活用を検討します。



※9 施設が企画・建設されてから、維持管理を経て、除却（取り壊し）されるまでの流れのこと。



第3期庄原市長期総合計画 概要版

発行：広島県庄原市

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

TEL 0824-73-1111（代表） FAX 0824-72-3322